

令和6年度第1回市民協働推進会議・
令和5年度公益活動事業補助金事業報告会 会議録

日 時	令和6年4月26日(金) 17:30~19:30
会 場	北広島市役所3階 会議室3C・D
出席委員	橘会長、高嶋委員、原口委員、米一委員
欠席委員	山口委員
傍聴者	0名
市出席者	阿部市民環境部長、山田次長、高橋市民生活課長、立野主査、中島主任

1. 開会

「委員の過半数が出席していることから、会議が成立していること」を確認。

協議事項については非公開とし、議事録も協議事項の部分を除き公表することを諮り、了承。
会議録署名委員に高嶋委員を指名。

2. 評価についての事前説明

事務局から制度概要及び評価方法等を委員に説明。

3. 事業報告会

《令和5年度公益活動事業補助金利用2団体から報告》

■にぎわいの創出や魅力づくりに寄与する事業

社会福祉法人北ひろしま福祉会就労センタージョブから資料に沿って報告

～事前質問～

- 「アートによるまちづくり」を市内の他の障がいや福祉にかかわる法人・団体と協力して進めていく予定はあるか。
- 現在具体的に進んでいるものはないが、是非やっていきたいと思っている。
- 事業実施により得られたことをもっと具体的に示してほしい。(まちづくりのためにどのように役立てるかなど)
- 具体的に得られたものとしては、まちづくりにつながる原点として私たちが楽しく活動をやっていくことで、それが共感を得て協働につながる、ということが学びとしてあった。
- トークイベントの参加者からの感想などが分かれば教えてほしい。
- 有意義だった等、前向きなご意見をいただいた。
- 事業収支決算書について
 - (1) 決算額の旅費の内訳について
 - ・対象経費とした経費はどれか。
 - ・対象経費外とした経費の内容は何か。
 - (2) 申請時に予算計上されていた「報償費」「印刷製本費」「備品購入費」は、決算の項目にはないがどのように取り扱われたのか。
 - (3) 申請時に予算計上されていなかった「消耗品費」について、具体的にどのような目的で使われたのか。
- (1) 対象経費は事業収支決算書の摘要欄にあるものがすべてとなる。
対象経費外は、講師の乗車券チャージ代(8,000円)と足利市から羽田空港の旅費に

ついて、経済的な金額で積算し直したことによる差額と宿泊費の補助基準額を超えた分。

- (2) 報償費は先方が辞退されたため支払っていない。

印刷製本費及び備品購入費は、申請時から変更があり対象経費が発生しなかった。

- (3) 消耗品費は、掲示していた作家さんを紹介する漫画の評判が良く、欲しい方にお渡しすることとしたため、印刷用のインク購入やラベルシール代等に使用した。また梱包材を当初は運搬費に計上していたが、消耗品費にあたるものだったので実績報告時に改めて計上した。

～質疑応答～

○A 委員

慈善事業ではあるが、当事者の方に報酬があった方が良いのでは。持ってきたアートをこちらで売る等は考えなかったのか。

●社会福祉法人北ひろしま福祉会就労センタージョブ

作品は商品として会場内で売ったものもあった。慈善事業という考えではなく、必要な経費は払ったりもらったりしている。

■子どもの居場所づくり イチゴ教室の展開

特定非営利活動法人ゆとりのから資料に沿って報告

～事前質問～

- 補助金の5割以上が使用料・賃借料にあてられているが、その費用を今年度以降はどう賄っていくのか。

- こうした活動を始めた以上、途中でやめるということはしたくないので、何とか継続したいと思う。

- 事業収支決算書について、「会場使用料」と「厨房使用料」の単価の根拠は。

- 地域の会館等の使用料等から算出した。

- イチゴ教室参加者状況について

(1) ボランティア参加者はこの表に含まれているか。含まれているとすれば、どの区分で合計何名か。含まれていないとすれば延べ何名か。

(2) 利用者の拡大について、どのような取組みをしたか。

- (1) ボランティア参加者は「大学生」「保護者」の中に含まれており、およそ20名程度。星槎道都大学の学生などが来てくれた。幼児が参加する場合は必ず保護者がついていて。それ以外にも、イベント時などにゆとりのに関わってくれている近所の保護者の方が手伝ってくれた。

(2) 基本的にやったことはチラシを作って配布したり、ポスターを貼ったりした。今後、小中学校の先生方と交流する機会を持ちたい。その中でこういう場所があることを知ってもらいたい。

～質疑応答～

○A 委員

利用人数が増えるのは良いことだが、一方で、ルールブックを作成するとのことでそういっ

た決め事がどんどんできてしまうとこの居場所が学校のようになり、本来居場所を求めている子どもが居づらくなってしまふのではと懸念している。1回の利用者の限界はどのくらいと考えているか。

●特定非営利活動法人ゆとりの

基本的にスタッフとして、妻と私は必ずいるという形で運営しており、5～10人なら目が行き届く。それ以上増えた時の体制は課題となる。ある程度で限定するのか、もっとボランティア等を呼ぶのか、いずれにしろ20人程度が限界と考える。増えすぎた場合は募集中止も視野に入れている。当初はここまで増えると思っていなかった。

○B委員

放課後デイサービスに通っている子どもとイチゴ教室に来て欲しい子どもの層が被ることはないのか。

●特定非営利活動法人ゆとりの

デイサービスの子どもたちは月に2回、先生方が連れてきて参加している。デイサービスには行っていないけど、親御さんがイチゴ教室に行ってみたらどうかということで来てくれてもいい。ただ、イチゴ教室自体は週に1回しかないのもそれ以外の日の対応は難しい。

4. 協議事項※ここからは非公開

《令和5年度 公益活動事業補助金事業評価》

5. その他

6. 閉会